

木細工小学校

生徒数 9人
所在地 江刺米里字向木細工 228 ☎ 38-2121



甚句まつりに参加しました

木細工小学校は1929（昭和4）年に開校し、本年度で90周年を迎える歴史と伝統のある小学校です。木細工は、市の中心部から15㌔の最東部にある種山高原西麓の標高300㍍前後に位置しています。清流

子どもたちの素直な思いを詩・作文に

全校児童による詩・作文への取り組みを約30年前から行っています。詩・作文を6作品制作するというもので、「題材探し」「マッピング」「構成」「下書き」「聞き取り」「清書」の流れで作品作りを進めます。毎年、多くの児童が入賞を果たしている自慢の取り組みです。今年の2月には、校内で行う「きざいくっ子詩のコンクール」の様子がNHK「おぼんすいわた」で放送されました。今後も木細工の豊かな自然や生活を題材に、子どもたちの素直な思いを作品に込めていきます。



木細工小自慢の取り組みです

学校通信

地区民合同運動会・文化祭

本校では、運動会と文化祭を地区の皆さんと合同で実施しており、5月25日に地区民合同運動会を行いました。児童による一輪車パレードでは、練習の成果を発揮して、息の合った見事な演技を披露。米里保育所の園児たちのかわいらしいダンスや白熱した三輪車リレーなども行われ、大変盛り上がりしました。10月19日には、地区民合同文化祭が開かれる予定で、児童の発表はもちろん、地域の方々の発表や作品展示など、今から楽しみにしています。



鳴瀬川と緑が美しい自然豊かな地域です。

「子どもが明日また来たい学校」「地域とつながる学校」をモットーに、職員が一丸となり、保護者や地域と連携して、小規模校の強みを生かした特色ある教育活動を推進しています。

伝統の種山ヶ原太鼓

全校児童による種山ヶ原太鼓は、本校の伝統の一つです。今年も全校児童9人で練習を行っています。6月2日に行われた種山高原山開きでは、種山ヶ原太鼓保存会の皆さんの協力の下、たくさんの観客の前で、子どもたちは堂々と太鼓の演奏を披露し、大きな拍手をいただきました。

子どもたちの演奏の後には、保存会の方々の勇壮な演奏も披露されました。今後も、素晴らしい伝統を受け継いでいきたいと思います。



高原に元気な太鼓の音が響き渡りました

みんなでおいしい米づくり

毎年、学校近くの田んぼをお借りして、米作り体験学習を行っています。農家の皆さんに田んぼの先生になっていただき、種まきや田植えなどを体験しました。子どもたちは、苗の観察を通して、米の種類によって苗の色が違ふことなどを学んでいます。10月には、稲刈り、脱穀とさらに作業が続きます。11月9日には、田んぼの先生方や保護者の方などを招いて、収穫を祝う「感謝の会」を開き、米作り学習のまとめを行う予定です。



藤里地区は世帯数516戸、人口1418人で江刺のほぼ中央に位置し、四方を岩谷堂、田原、伊手、玉里と接しています。豊かな自然に恵まれた環境を生かし、稲作を中心とした農業が盛んな地域です。また歴史文化が息づく地域でもあり、国の重要文化財「木造兜跋毘沙門天立像」や県指定天然記念物の「藤里の珪化木」を有する愛宕山自然公園など、歴史的な観光資源が数多くあります。

藤里振興会は教育・文化・産業・経済の振興と社会福祉の向上を目指し昭和42年に発足し、平成29年には創設50周年を迎えました。また、同年に市から地域活動拠点である「藤里地区センター」の管理運営を受託しました。これらを節目とし、さらなる地区振興・地域づくりを目指しています。

藤里地区文化祭（演芸部門）



平成30年度に開催した藤里地区文化祭では、藤里の郷土芸能でもある神楽のほか各自治会や区長会、スポ少など27団体の出演がありました。藤里第1区自治会は、昔ながらの稲作作業をそれぞれの踊りで表現する「百姓踊り」を披露。小学生から高齢者まで総勢30人が一緒に元気よく踊り、会場から盛大な拍手が送られました。

お盆朝市 ～みんなおいでよ、自然豊かな藤里へ～

藤里振興会婦人部では、今年も「お盆朝市」を8月10日（土）午前6時から藤里地区センター駐車場で開催します。地元の野菜や花などを多数取りそろえ、地域の皆さんのお越しをお待ちしています。また同日午後3時から藤の花キャンパス実行委員会主催の「藤里夏祭り」が同会場で開催されます。地元の伝統芸能である浅井神楽や白山大権現舞の披露のほか、歴代年祝い連の江刺甚句輪踊りなど家族みんなで楽しめるお祭りです。ぜひ、ご近所誘い合わせの上、藤里地区センターにお越しください。



いいところ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



藤里地区

拠点 藤里地区センター
（江刺藤里字上長沢27 ☎ 39-3127）

注目の話題

「藤里FIREWORKS」始動 ～地元で眺めるお盆の打ち上げ花火 藤里を考える機会に～

市協働のまちづくりアカデミーを修了した6人が「藤里FIREWORKS（FFW）」を立ち上げました。由緒ある寺社、芸能や農村風景など多くの魅力を有する「藤里」をステージに、地域づくり・地域活性化のための活動を計画しています。第一弾として、お盆の8月14日（土）午後7時から藤里3区地内（伊手川・若神子橋上流）で花火を打ち上げます。一瞬の光の芸術をみんなで眺めながら、ふるさと「藤里」をあらためて考えてみませんか。



ここが自慢

緑豊かな田園風景

眼下に広がる棚田や今も変わらぬ田園風景。見る人の心を癒やす藤里の風景は、近年ロケ地として注目されています。今年も9月下旬から10月上旬にかけて大河ドラマのロケが予定されています。

